

第23回（2016年度）全国銀行学術研究振興財団賞  
＜経済分野＞

柳川 範之 東京大学大学院経済学研究科教授

〔表彰理由〕

契約理論にもとづく金融制度や企業金融に関わる諸問題の分析において優れた成果をあげ、その業績は高い評価を得ている。

〔主要著書・編著〕

『これからの金融がわかる本』（共編著）東洋経済新報社、2007年

『法と企業行動の経済分析』日本経済新聞社、2006年

『不良債権って何だろう？』（共編著）東洋経済新報社、2002年

『流動性の経済学－金融市場への新たな視点－』（共編著）東洋経済新報社、2002年

『契約と組織の経済学』東洋経済新報社、2000年

『会社法の経済学』（共編著）東京大学出版会、1998年

〔主要論文等〕

「Asset Bubbles, Endogenous Growth, and Financial Frictions」 （共著）Review of Economic Studies、2016年

「Asset bubbles and bailouts」 （共著）Journal of Monetary Economics、2015年

「Increasing the Capital Income Tax Leads to Faster Growth」 （共著）European Economic Review、1996年

「Economic Development in World with Many Countries」 Journal of Development Economics、1996年

「Asset Bubbles and Endogenous Growth」 （共著）Journal of Monetary Economics、1993年

以上